

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

| | | |
|-------------------------------|--|--|
| 名称：川崎市菅生保育園 | 種別：認可保育所 | |
| 代表者氏名：尾崎 香津代 | 定員（利用人数）： 120名（利用人数：117名） | |
| 所在地：〒216-0026 川崎市宮前区初山1-23-15 | | |
| TEL：044-977-9320 | ホームページ： https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000031275.html | |
| 【施設・事業所の概要】 | | |
| 開設年月日：昭和50年1月1日 | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市 | | |
| 職員数 | 常勤職員：22名 非常勤職員：14名 | |
| 専門職員 | （専門職の名称） 名 看護師：1名 | |
| | 園長：1名 栄養士：1名（他園兼務） | |
| | 園長補佐：1名 保育補助：6名 | |
| | 保育士：24名 用務員：2名 | |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） （設備等） | |
| | 保育室：9室 園庭：有 | |
| | トイレ：3ヶ所 | |
| | 調理室：1ヶ所 事務室：1室 | |

③理念・基本方針

<保育理念>・子どもの権利を保障し、未来を担う子どもたちの生きる力を育む保育

<保育基本方針>

- ・一人ひとりを大切にし、心の安定をはかり、主体的に活動できる子どもに育てる。
- ・個人差を考慮しながら、生活リズムを整え基本的な生活習慣を身につける。
- ・異年齢の友達とのふれあいを通して思いやりの気持ちを育てる。
- ・環境を整え発達に即した色々な経験を深め、豊かな感性を育てる。
- ・保護者との信頼関係を築き、共に子どもの育ちを支える。
- ・地域の中での保育を大切にし、様々な人との交流の場を持つ。

<保育目標>

- ・心もからだも健康な子ども
- ・自分も友達も大切にする子ども
- ・意欲的な子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、子どもたちが主体となって、様々な経験を通して相互に育つ「子ども主体の保育」を大切にしています。子どもの意欲的な活動や友達との協同的な遊びを楽しみながら、一人ひとりが成長していくことを目指しています。遊びを通じた学びを重ね、

人と関わる楽しさや自分らしさに、自信を持って、日々の生活や遊びを楽しめるようにしています。また行事も子どもたちと話し合いながら取り組んでいます。

乳児期では、子どもが自分は愛されている、守られているという安心感を持てるように関わり、子どもの気持ちに寄り添い、思いを受けとめること、好奇心・興味の芽生えを大切にすることをポイントに保育を行っています。また、たくさん身体を動かし、好きな遊びを楽しむこと、人と関わることの大切さ等楽しい経験を重ねながら、幼児期につなげています。

幼児期では、「子ども主体の保育」を目指し、子どもたちからのアイデアや気づき、不思議に感じる気持ち（感性）を共有しながら生活や遊びを一緒に作り、深めていくことを大切にしています。また身近な自然に触れたり、異年齢児との交流をしたりする活動も大切にしています。

近隣には連携している地域子育て支援センターがあり、地域子育て支援センター職員と情報を共有し、地域性の把握に努めながら、地域の親子の子育て支援を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---|
| 評価実施期間 | 令和5年10月20日（契約日） ～ 令和6年3月22日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 3 回（ 2018年度 ） |

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)地域交流、地域子育て支援のリーダー的存在の役割を果たしています
区役所、子育て支援センター、近隣保育園と連携をとり、親子でランチや父親の子育て体験講座、連続講座、園庭開放、絵本貸し出し、交流保育、テーマ遊びの「あそびの広場」、地域の子どもたちと交流する「すがっこタイム」など多彩な事業を展開しています。小・中・高校との交流や体験学習、保育実習生も多数受入れています。川崎市の公立保育園として、園内の保育にとどまらず、子どもたちの地域とのふれあい、地域子育て支援のリーダー的な役割を果たしています。

2)保護者の気持ちに寄り添いながら支援しています
研修を修了した発達相談支援コーディネーターによる「コーディネーターと話そう会」を実施し、子育てや子どもの発達などの相談に応じています。相談は保護者の時間に合わせ、プライバシーに配慮して行っています。また、玄関には仕事や子育てに忙しい保護者がほっこりするような日替わりの標語や持ち帰れるしおりが置いてあり、疲れを癒し、保護者に寄り添う工夫が見られます。

3)食に関心が持てるような取組に力を入れています
給食室のガラス窓越しに調理の様子を見たり、匂いを感じて給食に期待を持てるようにしています。季節の食材を使い、郷土料理も紹介しています。様々な野菜や米を栽培し、五感を刺激する食育活動を実践しています。収穫した野菜は家庭に持ち帰り、食育活動を家庭と連携しています。野菜に触れたり、皮むきをしたり、4、5歳児では収穫した物を使用してピザやおにぎりを作っています。

4)市のビジョンを踏まえつつ、園独自の中・長期視点を具体化していくことに期待します
川崎市の「第2期川崎市こども・若者の未来応援プラン」が公立保育所共通の役割として地域の子育て支援、民間保育所への支援や公民の人材育成などを掲げ、市の中・

長期プランに位置付けており、園はこれを反映した運営方針を立てています。一方で園独自の課題があり、多様化した保育ニーズへの対応力向上などの保育実践面、予定されている移転問題に関わる運営面、若手の人材育成や、老朽化に伴う当面の環境改善等の課題があります。公立園として園独自で中・長期計画を作成する定めはありませんが、各年度の事業計画作成の際には園独自の中・長期的視点や構想が必要です。市の計画を踏まえつつ、園ならではの中・長期的な方向性を示して文書化し、取組を継続させていくことに期待します。

5) 職場環境への配慮と人材育成の取組に期待します

経験豊富な職員が多数おり、保育実践において園の人材の厚みを感じさせます。保育を深める話し合いを企画して、人材育成のための工夫をしています。一方で職員の新任期、中堅層の育成の必要性などの課題があると園は考えており、これは将来の園運営に影響するテーマです。職員間のコミュニケーションについても取組をさらに工夫し、一層成果を挙げていくことが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けるにあたり、全職員で保育内容、運営について話し合いを重ねました。

自園で力を入れて取り組んでいるところ、求められる役割、課題などを確認することができました。

評価機関よりいただいたご意見、認めていただけたことは園として励みになるとともに、課題についても真摯に受け止め、取り組んでいきたいと考えます。今後も「子ども主体の保育」を大切に、保育の質の向上を職員一同で協力して進めていきたいと思いをします。

保護者の皆様からの貴重なご意見は保育、運営に反映し、安心、信頼して預けていただける保育園を目指して参りたいと思いをします。

お忙しい中、アンケートにご理解ご協力いただいた保護者の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり